

令和2年11月 高原町教育委員会定例会議事録

1 日 時 令和2年11月12日(木) 10時27分～11時43分

2 場 所 高原町中央公民館 2階第2会議室

3 出席委員 教育長 西田次良
教育委員 有水りえ子 福丸幸治
後藤良文 温谷一浩

4 欠席委員 なし

5 事務局 教育総務課
課長 末永恵治 対策監 酒井昭弘
課長補佐 江田雅宏 係長 外村英樹

6 会議内容

◎開会

10時27分

【1 開会】

西田教育長 開会を宣告する。

【2 議事録署名委員の指名】

西田教育長 議事録の署名人に、教育長と有水委員を指名する。

【3 教育委員会の現況報告】

西田教育長 今日はいさ2運動の日であり、狭野小学校に行ってきた。
今朝は5、6℃あり、子どもたちは広原小学校から高原小の子たち、
高原中の子たち、狭野小の子たちまでいて、元気に集団登校をしていた。

狭野小ではボランティアの方が10名見え、ありがたく思ったところ
である。

今日の学校訪問は、広原小学校に行っていたが、学校の方は
10月14日から2学期が始業している。約1か月が経過し、どの学校も
順調に学校運営がなされている。

新しい学校の生活様式が定着していると思っている。消毒の機器や
体温計等も配布し、十分に使用ができています。広原小学校長も言っ
ていたが、行事等をかなり削減や縮減等をしている。

先月の10月24日に高原中学校の文化発表会が行われ、入場するときは
保護者の検温、手指の消毒がしっかりされていた。マスクもされて
いた。席もきちんと間隔を取り、自分の子どもの出番が終わったら、入
れ替えてくださいということで、うまく入れ替わりをしていた。合唱
は例年より練習が少なかったが、透明なマウスシールドを全員がして

合唱をしていた。聞き応えがあり、特に3年生の成長を感じた。

行事としては、後川内小中学校の合同運動会が10月25日に行われた。この日はもともと合同発表会の日だったが、5月の運動会がコロナ禍で延期になり、そこに合同運動会が入ってきた。非常に季節としても、さわやかな秋晴れであった。短縮プログラムで行ったが、それと関係なく子どもたちは一生懸命に取り組んでいた。小中合同だが中学生がリーダーシップを発揮し、小学生がそれに元気に応えるということで、非常に仲がいい様子がかがえた。小中合同の良さを感じた。東雲太鼓も練習は少なかったということだが、見応えのある発表だった。

県の中体連の秋季大会が先日行われ、高原中の男子バレーが初優勝した。久しぶりに新聞に大きな活字で“高原”の名が載った。また男子バスケットがベスト8。入賞が少なかったが、後川内中学校の郡山雅琥斗君が砲丸投げで6位入賞という結果が届いている。

社会教育関係については大きな行事はまだ中止されており、秋祭りの中で作品の展示会をしているが、これらも中止ということである。生涯学習講座や諸会議については少しずつ開始し、そこに報告のあるとおりの状況である。

(補足説明)

末永課長

10月27日にあり方検討委員会をしている。28日の南九州駅伝関係挨拶とあるが、中止が決定しということで、その挨拶に都城市役所の方が来られた。30日の就学時健診は滞りなく終わり、62名のうち61名に参加していただいた。地婦連や関係各課の協力を得て、無事終了した。参加しなかった1名は37、38℃の発熱があり、個別に健診される。11月4日については、有水委員と西田教育長に、理事会に参加していただいている。市町村教育委員会の理事会と教育施策に対する意見交換会を県の教育委員会と行っている。市町村対抗駅伝の選考会が昨日行われた。子どもたちが、12名参加した。今のところ市町村対抗駅伝については、実施する方向で動いている。

今後の連絡事項としては、13日に来年に決定している国文祭実行委員会が行われる。19、20日で小学校の修学旅行が行われる。22日については、市町村対抗駅伝の選考会が一般も含めて行われる。25日が第4回目のあり方検討委員会が行われる。そろそろ答申に向けた、協議に入っていく。

狭野神楽については舞われるが、振る舞いや観客は入れずに開催される。祓川神楽についても、その方向で検討中と聞いている。高原中学校の生徒指導部での見回りも行わない。

12月21日の新任教育委員研修会の案内が来ているので、後で温谷委員さんに案内文書をお渡しします。

西田教育長

市町村教育委員会の理事会に有水委員と出席をした。県の要望に対して、意見交換をするという内容だった。4つ柱があった。1つ目は特別支援教育の充実について、2つ目は生徒指導体制の充実、3つ目は

子どもたちがどんどん減っている学校が小規模になることについて、最後が今の新型コロナウイルス感染症対策についての意見交換会だった。特別支援教育については、今年高原小学校に通級指導教室を開設し、高原町の現状を私から話しをした。いろいろな要望等があったが、中身については省略させていただきたい。

有水委員　ほかの地区の代表の方がみえており、延岡や県北・県南地区の状況、多少の差や市町村の規模の大きさはあるが、同じ方向を向いていると感じた。予算がどこも厳しいが、県の方にも予算の確保をお願いしたいという事であった。ICTに伴うインターネットの整備など、県の方に頑張ってもらって予算を確保してほしいと皆さん言われていた。

～質疑～

温谷委員　何人ぐらい出席されたか。

～回答～

西田教育長　8地区から理事がそれぞれ8人出た。市町村連合会の会長・副会長、県教委の方からは県の教育長から副教育長、関係各課20名ぐらいの課長と担当者が来ていた。

有水委員　西諸地区は小林市がずっと事務局をし、小林の教育長と担当者が行かれていた。小林・えびの・高原で事務局を回すようになり、初めて参加した。日南・串間だと交互にやっている。今年はコロナの影響で総会ができなかったが、ある程度地区の意見を取りまとめて、あげていくという形を取っている。西諸地区は今回書面での意見をもらい、事務局で取りまとめてもらった。内容の一覧をいただきながら、実際にえびの・小林の委員さんと直接会っていろいろ聞くということが今回はできていないが、問題点や悩みなどの方向性は県内一緒なのかなと感じた。

西田教育長　県への要望は、各市町村から毎年たくさんの項目があがってきている。特に今回は項目を4つに絞り、直接県と話をした。

項目は連合会の会長・副会長で絞って、提案している。

特別支援教育の課題がどこも多く、30人学級もずっと要望しているが引き続きとなった。なかなか難しいため、県としては国に要望しているということである。

～質疑～

後藤委員　10月29日の町長旗の剣道大会は、やる方向か。

～回答～

江田補佐　今年度については、やらないと決定している。今度の区長会で中止の案内の連絡をする。

～質疑～

福丸委員 10月30日の就学時健康診断は何名行ったのか。また12月5日の県民総合スポーツ祭について、分かる範囲で詳細をお聞きしたい。

～回答～

外村係長 就学時健診は62名の参加。さらに来年度は62名の新入学児童が、高原の小中学校でそれぞれ分散してくる。

江田補佐 本町からはウエイトリフティング部の1競技だけが、5名参加する。ひなた総合運動公園で開催される。来週スポーツ協会の理事会がある。

【4 議事】

《(1) 学校のあり方検討委員会経過報告について》

(説明)

末永課長 (学校のあり方検討委員会の経過、保護者アンケート結果を報告)

～質疑～

温谷委員 学校統合について進めるが高小60、広小47と書いてあるが、ここの分析はしているか。

～回答～

末永課長 数字を出しただけである。ただ統合に反対や残してほしいという人は、各学校2割程度いるという感じがする。

《(2) 高原町教育委員会定例会の日程公表について》

(説明)

末永課長 (日程公表をホームページ上で行うことを提案)

～質疑～

温谷委員 傍聴者を入れるのであれば、この会議室では狭いのではないか。

～回答～

末永課長 隣の会議室になる場合もある。

福丸委員 他の市町村を見ても同様の取り扱いとなっている。この方向で検討してもらってありがたい。教育委員の業務についてわからない人もいる。ぜひ実施していただくとありがたいと思っている。

～質疑～

温谷委員　　これまで傍聴に対する問い合わせ等あったことはあるのか。

～回答～

後藤委員　　議員さんが来た事例はあったことがある。

有水委員　　議会だよりの取材で見えた時と、ある議員が議員になられた時にあったことがある。

後藤委員　　高原中学校で定例会を実施した時に、守秘義務事項があったので退席してもらった事もある。

日程公表等については、令和3年1月より公表を行い、令和3年4月定例会より、報告番号、議案番号を付すことに決定

《(3) その他》

末永課長　　「部活動及びスポーツ少年団における今後の対応について」説明

～質疑～

有水委員　　この通知は、高原町教育委員会の見解について、町内のスポーツ少年団に発出したという理解で良いのか。他の西諸の自治体の状況はどうなっているか

～回答～

西田教育長　　西諸は、同じように出している。県内も一週間遅いが、同じ取り扱いとしている。

《その他》

～質疑～

福丸委員　　学力向上の取組、スポーツ少年団の加入率、定例会後の情報交換会、狭野小学校校庭の岩石の文字盤について

～回答～

酒井対策監　　学力向上については、まずは学力の捉え方である。テストの点数なのか、そうではないのか。テストの点数も一つの目安にはするが、それが全てではないとご理解いただきたい。全国学力調査、宮崎学力調査が行われる。

本年度から、家庭学習の取り組み方について、どのように進めてい

くのかを改める。宿題を見る家庭とそうでない家庭の差があると感じているが、大事にしたいのは学力をつけることを家庭任せにしたいということである。家庭の学習を頑張ってもらいたい、学力をつけるのは学校の中でつけるということを第一にしてほしい。そのためには学校の中での授業で、定着させるような授業に取り組んでいきたい。そのために町教育委員会では、授業力確認月間を設けている。本年度については、全学校授業公開を取っている。

また校長先生を対象に、学力向上ミーティングを行った。調査を基に、弱いところの分析を直接面談で行った。教育委員会として、10の法則という取り組みがある。

江田補佐 正確な数字ではないが、3割程度は加入している。現段階でスポーツ少年団は、10団ある。

外村係長 現場の確認をしていきたい。
物を修理するのに修繕料という予算から支出をする。各学校に修繕料が組まれている。本当に学校が必要であれば、学校が修繕料を用いて修繕すべきものであると考えている。一定額であるため、優先順位はある。予算には限りがあるため、学校側から正式に学校教育係に要望してほしい。

～質疑～

温谷委員 学力調査の活用方法は、どうしているのか。

～回答～

酒井対策監 残念ながら本年度は、テストを一斉に実施することはない。ただ、やる予定だったため、問題用紙だけは各学校に届いている。その問題を基に、テストとして設定していない学校と設定していこうという学校に分かれているが、そこは学校に任せている。中学校は、テストの時間として実施している。中学校に関して、国の方から分析ができるテストの集計ツールが届き、実際に取り組んでいる。次年度は予定通り実施する。

～質疑～

温谷委員 その比較はあるのか

～回答～

酒井対策監 ないです。学校の平均として全国でどうあるかは出る。

～質疑～

温谷委員 これまでの調査の全国平均は出ているのか

～回答～

酒井対策監 昨年度の全国平均は出ている。これに対し、今年の子校の平均で比較はできる。

～報告～

有水委員 10月27日、高原小学校の5年生の稲刈りがあつた。田植えは手植えで行い、稲刈りも手刈りで、コンバインで脱穀を行った。JA青年部の「おじちゃんと語る」の経緯で毎年、自己経営の水田で行っている。担任、支援員、栄養の先生と校長先生も見えてJA青年部のサポートもあつて実施できた。ケーブルテレビの取材も来た。宮崎農業大学校からの研修生もサポートしてくれた。過去に児童間のトラブルがあつた学年だが現在の担任の先生が指導力を発揮され、しっかり見守りながら、過去に心配した子ども間のトラブルも薄れてきており、お互いを認め合いながらの方向性に向かっているのではないかなと感じた。無事に稲刈りが終了した。

【5 その他】

西田教育長 次回定例会は、
令和2年12月2日（水）午前9時～

外村係長 GIGAスクール端末の納入が危惧されていたが、すべての端末が納入完了した。セットアップについては12月いっぱいまでかかる予定である。12月末には端末を使える状態にはなる。

西田教育長 納入については、県内でも早い方である。

酒井対策監 教育委員会主催で12月9日の午後に授業研究会を狭野小学校と高原中学校で行う。参加したい教育委員さんは私の方に連絡いただければ学校に連絡を行う。

西田教育長 閉会を宣告する。

◎閉 会

11時43分

議事録署名委員

西田次良

有水りえ子